

編集後記

第4号の編集後記では、「21世紀には、文字どおり地球の存亡そのものをかけて、平和、公正、環境などの確立が切望される」と記した。しかし、まことに残念ながら今世紀最初の年は、かつてない形のテロリズムと戦争によって前世紀に別れを告げ、世界不況の様相が深まるなかで暮れようとしている。米ソ冷戦が終結し、ボーダーレス経済のもとで誰もが「平和の配当」与るという期待は、あとかたもなく砕け散ってしまった。バブルの発生と破綻の波動を激しく繰り返すグローバル経済は、「1人勝ち」経済としての本性を露にし、幻滅した膨大な敗者たちが、排外主義や地域／宗教紛争、テロ、凶悪犯罪、教育アパシーなどの土壌となっている。「生きるに値する」世界を、いかにして現世代のあいだでより公平に分ち合い、次世代に引き継ぐことができるか。このような問いが、現在ほど深刻に問われる時はないだろう。そのような折に、『研究紀要』第5号は、「21世紀の家族と子ども」を特集テーマとした。

本号を編集する過程では、34本の投稿をいただき、結果として4本の論文と1本の実践事例研究を掲載することになった。掲載に至ったのはいずれも自由テーマの論稿である。投稿論文募集要項にあるように、掲載を決定するために査読を行うが、特集テーマでの投稿を優先するといった扱いはせず、各論稿のテーマの重要性、独創性、専門性、先駆性などを査読の視点としている。実践的研究を重視し、実践事例研究という種類をもつことは本誌の特徴の一つであるが、「研究」の成果を公表する媒体であるという点では、大学等の研究紀要や学会誌と同等である。創刊号から編集に携わってきた者として、本誌が研究成果の公表媒体として定着してきたという感を強くする。投稿者をはじめ、査読者のご協力に感謝したい。

紀要委員会委員長 大沢真理

国立女性教育会館研究紀要 第5号

2001年11月 発行

編集・発行

独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字管谷728
TEL 0493-62-6711 FAX 0493-62-6720

制作・印刷

株式会社 玄工房

〒112-0033 東京都文京区本郷3-2-7 本郷中井ビル8F・9F
TEL 03-3815-9276(代) FAX 03-3815-9275